



ほけんだより

2005年10月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

運動会の練習を頑張った子どもたち。本番もお家の方に感動をあたえてくれましたね(*^_^*)
ちょうど季節の変わり目とも重なり、運動会前後では緊張や疲れがたまり抵抗力が下がったのか、発熱や咳で欠席する子がちらほらいる状態が続いています。

また、先月に引き続き、手足口病にかかった子が幼児・乳児クラスに一人、結膜炎にかかった子も幼児・乳児クラスに一人ずついました。早期発見・早期治療で重症にならないようにしましょうね。

【尿検査】

10月5日に第一次尿検査がありました。ちょうど運動会の総練習1日目にあたり、朝から大変だったと思いますが、265人の園児中220人が提出することができました。ご協力ありがとうございました(^-^)

10月18日に第二次尿検査があります。一次検査で未提出だった子と再検査が必要な子のみ個別にお知らせします。(個別にお知らせがない子は陰性です。)

一次検査で未提出だった子は、今回の二次検査も提出できなかった場合、個人で医療機関にて検査し、結果を園まで報告してもらうこととなりますので、必ず提出するようお願いいたします。

(ただ、オムツをしている乳児さんについては、尿を採ることが難しいと思われるので、可能な限りで結構です。)又、容器等をなくされた方は担任に申し出て、袋にクラス・番号・名前を必ず明記して下さい。

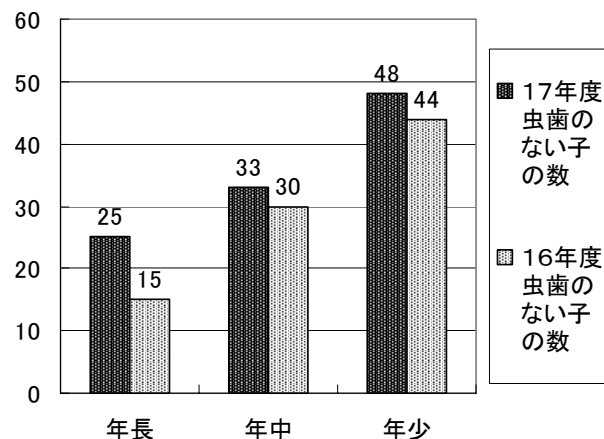
【歯科健診】

9月15日に、嘱託歯科医の山本先生による歯科健診がありました。結果は個別にお知らせしていますが、治療の必要があるお子さんは早めに歯科を受診してください。お休みされたお子さんも、歯科医の診察を受けるようお勧めします。

★昨年度より“虫歯ゼロの子”が増えました!!《特に年長児》

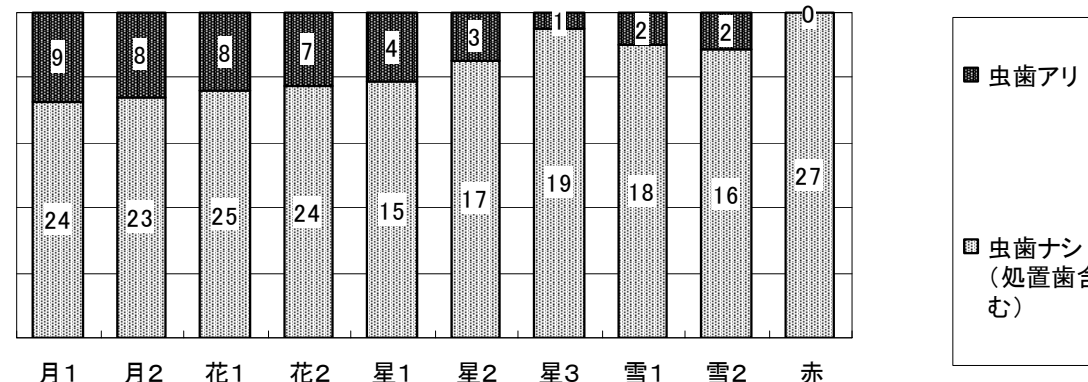
(右上グラフの“虫歯のない児の数”

とは、生まれてから一度も虫歯になったことがない子の数を表しています。)



★軽度虫歯(C1)のある子が252人中44人でした★

下記のグラフは、虫歯のある子とない子の数をクラス別に示し、相対的に表したものです。



★かみ合わせに問題がある子がいました★

かみ合わせに問題があると、将来小児の肩こりや腰痛などを起こし、生活にも影響することがあります。治療には適切な時期がありますので、歯科のホームドクターをもち定期的な健診をおすすめします。しかし、子どもの歯は、生えたり抜けたり永久歯が生えたりと、歯の数が変化します。またそれと共にあごも発達していきます。歯の数やあごの発達により、かみ合わせも変化していきますので、乳歯のうちは様子を見ていけばよいでしょう。

- ① 開咬(かいこう)：前歯の上下がかみ合わない。指しゃぶりやおしゃぶりを続けることが原因になることがほとんど。
- ② 切端咬合(せったんこうごう)：前歯は上の歯がかぶさるようになるのが通常のかみ合わせであるのに対して切端咬合は上と下がつき合わさる。
- ③ 反対咬合：下の前歯が出ている。受け口。切端咬合のひどいもの。

★その他★

- ① ゆ合歯：先天的に2本の歯が1本になって生えている。特に問題はないが、普通の歯よりギザギザしているため、虫歯になりやすい為注意が必要である。
- ② 先天欠如：生えてくるはずの歯が、先天的に欠如している。
- ③ サホライド：進行止め。歯医者で進行止めを塗ってもらっている。

昨年より虫歯が少ない理由として、山本先生より「お家の方が毎日の仕上げみがきをしっかりされているのが一番ですが、フッ素洗口が定着してきた(年長児)ことも大きいでしょう。」とお話を頂きました。来年更に虫歯の数が減るよう、これからも頑張りましょうね(^o^)